

2026年5月15日

各位

会社名 株式会社ベクターホールディングス
代表者 代表取締役社長 岩井 美和子
(コード番号：2656)
問合せ先 取締役 吉田 修
(TEL 03-6304-5207)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表いたしました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」におきまして、これまで記載しておりました「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、2023年3月期から2025年3月期まで3期連続で大幅な営業損失を計上し、また、営業キャッシュ・フローがマイナスの状態が継続していたため、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるとして、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりました。当連結会計年度においても、593百万円の営業損失を計上しており、営業キャッシュ・フローは869百万千円のマイナスの状況となっております。

しかしながら、当社の2026年3月16日付け「高性能サーバーレンタル事業の受注に関するお知らせ」のとおり、当社グループは、この状況を解消又は改善するために、新たな収益の柱としてAI関連サービス事業へ参入し、CUE Groupの中核であり持株会社であるCue Digital International Pte. Ltd.との間で、当社の所有する高性能サーバーの演算リソースをレンタルすることを目的とした、年間1,200百万円の利用契約を締結いたしました。加えて、既存事業である電子契約サービス「ベクターサイン」の登録者数の獲得を進め、また、PCソフトウェアダウンロード販売及びその他インターネットビジネスを相互連携させることで収益の増加を図っております。これらの取組みにより、今後、営業利益及び営業キャッシュ・フローの大幅な改善が見込まれます。

従いまして、このような状況を総合的に勘案し、現時点において継続企業の前提に影響を及ぼす重要な不確実性は認められないものと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

株主の皆様、取引先をはじめとするステークホルダーの皆様には、多大なるご心配をおかけいたしました。今後、更なる業績及び企業価値の向上に努めて参りますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上